

公益財団法人 北九州国際交流協会

公益財団法人 北九州国際交流協会

I 法人の概要（令和6年4月1日現在）

1 所在地

北九州市八幡西区黒崎三丁目15番3号 コムシティ3階

2 設立年月日

平成2年7月25日

3 代表者

理事長 福原 公子

4 基本財産

300,000千円

5 北九州市の出捐金

300,000千円（出捐の割合 100.0%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	7人	0人	1人	6人
常 勤	1人	0人	1人	0人
非常勤	6人	0人	0人	6人
職 員	12人	2人	0人	10人

7 市からのミッション

- ① 外国人市民が地域住民として日本人市民と対等に活躍できる社会を実現するため、外国人市民の社会生活適応と自立を支援する。
- ② 行政と市民団体、企業、大学などとの協働をコーディネーターとして促進することにより、外国人市民と日本人市民が共生できる活力ある社会をめざした地域づくりを行う。
- ③ 世界に開かれたまちづくりを進めるため、グローバル人材の発掘と育成を行う。国際的な視野と行動力を持つ若者を育てるとともに留学生等外国人高度人材への情報提供を密に行い、地域定着希望者への支援を行う。

II 令和5年度事業実績

本協会は、長期ビジョン「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」の下、令和3（2021）年度を初年度とする5か年の中期計画に基づき、

- 1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実
- 2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献
- 3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

の3つの分野における事業を実施した。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の「5類」以降後、急増した外国人市民との共生社会の実現に向けた取組みを引き続き推進した。

具体的には、「北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンター」において、外国人市民への多言語による生活全般の情報提供・相談を行い、併せて外国人市民に役立つ情報をホームページ等で発信した。併せて「生活支援」の一つとして外国人市民への防災対策に取り組んだ。

また、外国人市民の言葉の壁を取り除くために、外国人市民への日本語教育を充実させ、同時に日本人等への「やさしい日本語」の普及に取り組んでいった。

さらに、高城外国人材活躍支援資金等（寄附金）を活用し、留学生の地元就職支援や外国人受入企業の支援などを行った。

1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実

(1) 外国人市民への相談対応

ア 北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンターでの相談

○八幡西区コムシティ及び小倉北区役所で、外国語相談員が日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語による相談対応を行い、それ以外の言語はタブレット端末を活用した多言語通訳システム等の活用により最大 23 言語の相談に対応した。

○多面的かつ継続的な支援を必要とする相談に対しては、社会福祉士の資格と外国人支援に関する知識・経験を持つ「多文化ソーシャルワーカー」が関係機関と連携し、相談者に寄り添った長期的なフォローを行った。

○「生活者」、「子ども」、「就労者」を対象とした日本語教育に関する相談は、日本語コーディネーターが外国語相談員と連携して対応した。

○相談通訳コーディネーターが通訳者の育成・派遣を行い、日本語の苦手な外国人市民に寄り添った支援を行った。

※コミュニティ通訳業務（市の委託事業）

対応件数：159 件（内派遣件数 38 件）

言語別：英語 93 件、中国語 41 件、ベトナム語 17 件、タイ語 4 件、ネパール語 1 件、その他 3 件

内容別：区役所（行政手続）関係 90 件、子育て支援（子ども関係）34 件、子育て支援（母親関係）10 件、保健所業務 1 件、その他 24 件

※医療通訳派遣（協会の法人賛助会員は無料）

派遣件数：11 件

言語別：英語 3 件、中国語 5 件、ベトナム語 3 件

診療科別：内科 7 件、呼吸器内科 1 件、循環器科 1 件、整形外科 1 件、産婦人科（産科）2 件、眼科 2 件（複数科受診を含む）

イ 専門家相談

専門的な分野の相談には、必要に応じて通訳が同席する無料の専門家相談会を実施した。

○行政書士による「入国、在留、ビザ手続きの相談会」 1 回/月 相談件数：54 件

○弁護士による「法律相談」 1 回/月 相談件数：16 件

○臨床心理士による「心理カウンセリング」 随時 相談件数：0 件

ウ 外国人支援機関ネットワークの活用

福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市等で構成する「外国人支援関係機関連絡会議」において、外国人市民の抱える課題等の情報共有を図り、多文化共生ワンストップインフォメーションセンターの業務にフィードバックした。

開催日：9月29日(八幡西生涯学習総合センター大会議室) 参加者数：33人

2月1日(八幡西生涯学習総合センター大会議室) 参加者数：32人

出席機関：福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市教育委員会、福岡出入国在留管理局、北九州市(国際政策課、地域福祉推進課、区保健福祉課等)

エ ウクライナ避難民相談窓口による相談・支援

令和4(2022)年3月に設置したウクライナ避難民相談窓口を令和5年度も継続し、北九州市への避難民に対し、行政機関や支援機関と連携しながら相談対応や情報提供など必要な支援を行った。令和5年度末現在は3名が市内に在住している。

(2) 多言語による情報提供の改善

ア ホームページ等による広報(事業、イベント、防災情報等)

日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語に対応したホームページからフェイスブックやインスタグラムの活用と併せて迅速・効果的な情報発信を行った。

※ホームページアクセス件数

日本語 129,794件、英語 9,532件、中国語 2,430件、韓国語 2,032件

ベトナム語 2,264件、やさしい日本語 1,676件 合計 147,728件

Facebook フォロワー数：1,522人 Instagram フォロワー数：572人

イ「北九州市災害多言語支援センター設置運営マニュアル」運用研修(市の委託事業)

市との協定に基づき大規模災害発生時に開設する「北九州市災害多言語支援センター設置運営マニュアル(令和4年度作成)」を基に訓練を行った。訓練で気づいた内容も整理して、振り返り学習会を開催し、マニュアル改訂に着手した。

(3) 日本語教育の推進とICT活用

ア 日本語教室の運営

地域で暮らす外国人や外国人児童生徒を対象とした協会主催の日本語教室は、ICTを活用しオンライン形式で教室を開催した。

(ア) 外国人生活者支援

○「ひらがなカタカナ」(オンライン)

開催期間：5月18日～11月16日(毎週木曜日 10:00～11:30)

開催回数：20回 登録学習者数：7人(実数)

学習者の国籍：インドネシア、フィリピン、ナイジェリア、ケニア、
ベトナム、マレーシア

○「にほんご1」(オンライン)

開催期間：5月19日～3月15日(毎週金曜日 10:00～11:30)

開催回数：30回 登録学習者数：20人(実数)

学習者の国籍：インドネシア、フィリピン、スリランカ、ベトナム、
ナイジェリア、ケニア、中国、ポルトガル、マレーシア、

メキシコ、香港、スイス

○「にほんご2」(オンライン)

開催期間：5月16日～3月12日(毎週火曜日 10:00～11:30)

開催回数：30回 登録学習者数：16人(実数)

学習者の国籍：フィリピン、ベトナム、中国、マレーシア、ナイジェリア、
インドネシア、パキスタン、モンゴル

○「にほんご3」(オンライン)

開催期間：5月27日～3月9日

開催回数：20回 登録学習者数：17人(実数)

学習者の国籍：中国、インドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、
ナイジェリア、アメリカ、オーストラリア、韓国、イギリス

(イ) 外国人子ども支援(児童生徒を対象にした日本語教室)

○「にほんごひろば」(オンライン)

開催期間：4月15日～3月16日(毎週土曜日 10:30～11:30)

開催回数：34回 学習者数：20人(実数) ボランティア数：25人(実数)

学習者の国籍：日本、中国、ベトナム、香港、フィリピン、イラン、
パキスタン、マレーシア

○「夏休みしゅくだいひろば」(対面)

開催時期：8月22日(火)～23日(水) 午前10:00～11:30

開催場所：小倉中央市民センター

学習者数：12人(実数) ボランティア数：15人(実数)

学習者の国籍：中国、ベトナム

(ウ) 直営日本語教室パートナーのための研修(オンライン)

開催期間：4月26日～1月31日 計14回

参加者数：17人(実数)

(エ) 日本語交流マッチングパートナー制度の試行(オンライン)

開催時期：8月

実施回数：3組(学習支援者と日本語学習者のペア)×80分×3回

参加者：学習支援者3人、日本語学習者4人

イ 地域日本語教室との連携

(ア) 地域日本語教室への支援

市内で日本語教室を運営している15の教室・団体の課題や問題点の把握に努めるとともに必要な支援を行い、連携して日本語教育を推進した。

○地域の日本語教室11教室に対して運営資金の一部を助成(59万円)

○教室の活動状況アンケート(隔月)、日本語コーディネーターによる教室訪問(随時)

○ボランティア向け研修会の開催

①テーマ：知っておきたい 外国人の在留資格の基礎知識

開催日：6月17日(土) 13:30～15:30

場 所：八幡西区生涯学習総合センター「204 会議室」 参加者数：21 人
講 師：福岡出入国在留管理局北九州出張所 坂爪佳奈氏、椿淳也氏
福岡県行政書士会 持主智子氏、長尾恵美子氏

②テーマ：異文化コミュニケーション

開催日：9月9日（土） 14:00～16:00(ウエルとばた 8 階) 参加者数：24 人
講 師：JICA 中国市民参加協力課 新川美佐絵氏

③テーマ：おしゃべりでつくる「ときめく」

日本語学習～初級日本語教科書をアレンジしよう！～

開催日：12月2日（土） 14:00～16:00(オンライン) 参加者数：25 人

講 師：早稲田大学日本語教育研究センター非常勤インストラクター 田中美穂子氏

○地域日本語教室との意見交換会

(第1回) 開催日：5月25日(北九州国際交流協会)

参加者数：教室の代表者・メンバー 計10人

(第2回) 開催日：8月18日(北九州国際交流協会)

参加者数：教室の代表者・メンバー 計7人

(第3回) 開催日：2月22日(北九州国際交流協会)

参加者数：教室の代表者・メンバー 計12人

○地域日本語教室合同バスハイク(平尾台)

開催日：9月23日 参加者数：84人(バス2台)

(イ)門司区における地域日本語教室の開設

○日本語学習支援者向け準備講座

開催日：4月16日、4月23日、5月14日、5月21日

場 所：門司生涯学習センター大里分館

参加者数：28人(実数)

○日本語教室開設

開催日：毎週日曜日 13:00～15:00(開講日は6月4日)

場 所：門司麦酒煉瓦館2階

教室開設後、12月まで月1回程度の勉強会を実施し、理念や活動の振り返りを行った。

(ウ)「留学生弁論大会」及び「日本語おしゃべり発表会」の開催

外国人留学生や技能実習生等に日本語でスピーチする機会を提供することで日本語学習欲の増進と地域日本語教室間の情報共有、相互理解の促進につながった。

○「留学生日本語弁論大会」

開催日：12月10日 場 所：子どもの館 子どもホール

発表者数：9人(中国4人、韓国2人、インドネシア2人、スリランカ1人)

来場者数：35人

○日本語おしゃべり発表会

開催日：2月4日 場 所：北九州芸術劇場 中劇場

発表者数：13人(インドネシア3人、ベトナム3人、フィリピン3人、インド1人、マレーシア1人、台湾1人、ナイジェリア1人) 来場者数：142人

ウ 外国人受入企業の支援

市内 14 の企業・団体から相談を受け、そのうち 3 企業へ「日本語教育支援」を実施した。
令和 6 年 4 月から新たに 1 社、日本語教育支援の実施が決定している。また、外国人材を雇用する企業向け相談会に出展した。

○「北九州国際交流協会の日本語教育支援」

主に外国人スタッフと日本人従業員のコミュニケーションを重視したプログラム。外国人スタッフ向けの 10 回の日本語教育プランに加え、日本人社員へのやさしい日本語を使ったコミュニケーション研修を実施した（外国人スタッフ向け日本語教育は日本語講師を派遣）。

①自動車整備工場 場所：小倉南区

期間：6 月 2 日～9 月 29 日（隔週 1 回×10 日）

対象者：フィリピン人技能実習生 4 人

②製造業 場所：遠賀郡

期間：6 月 22 日～8 月 24 日（毎週 1 回×10 日）

対象者：ベトナム人技能実習生 3 人、タイ人技術者 3 人

日本人社員 16 人（日本人社員向け研修、全 2 回）

③介護業 場所：若松区二島

期間：1 月 9 日～3 月 12 日（毎週 1 回×10 日）

対象者：インドネシア人特定技能介護 2 人

日本人職員 10 人（日本人社員向け研修、1 回）

○「企業向け外国人材雇用ワンストップ相談会」への出展

その他団体として出展し、参加団体等と情報交換、参加企業の相談対応を行った。

出展日：10 月 19 日 場所：西日本総合展示場

参加団体：監理団体・登録支援機関等 14 社

エ 北九州市における地域日本語教室のあり方についての検討会議

外国人市民のうち特に就労・生活に関する日本語教育について関係団体と意見交換を行った。

①7 月 1 日（土） 14:00～16:00（八幡西生涯学習総合センター201 会議室）

出席者数：14 人（北九州ベトナム人協会、北九州ムスリム会、北九州市雇用政策課等）

②3 月 2 日（土） 14:00～16:00（八幡西生涯学習総合センター201 会議室）

出席者数：14 人（北九州ベトナム人協会、地域日本語教室代表者、企画調整局国際部国際政策課等）

オ 地域でのやさしい日本語普及啓発事業

「生活者としての外国人」に対する日本語教育への理解促進のために、「やさしい日本語」の啓発を行った。

開催時期：10 月～2 月 開催回数：9 回

対象者:196人(区役所職員(門司・小倉南・八幡東・戸畑)、警察署員(小倉北・若松・八幡西)、小倉中央市民センター(市民)、教育委員会(ひまわり中学校関係者))

2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献

(1) 外国人人材の発掘・情報収集

外国人人材を発掘して文化紹介サポーターに登録してもらい、希望する高校に派遣した。

3月7日 常磐高等学校

3月13日 福岡県立北九州高等学校

(2) 留学生支援

ア 地元企業への就職等促進

①市内進学者奨励金給付(留学生等支援資金の活用)

市内の日本語学校を卒業し、市内の他の教育機関(専門学校、大学)に進学した留学生を対象に、申請のあった市内に住民登録を有する留学生全員(32人)に奨励金2万円を交付した。

②市内企業就職者奨励金(高城外国人材活躍支援資金の活用)

北九州市内の大学や日本語学校及び専門学校を卒業し、市内に本社または事業所を有する企業に就職し、市内に住民登録を有する留学生(43人)に5万円を支給した。

イ 関原大連市留学生奨学金給付(関原北九州大連友好基金の活用)

大連市出身若しくは大連市内の大学、専門学校を卒業し、北九州市立大学大学院、九州工業大学大学院、早稲田大学大学院に通う留学生(3人)に、月額2万円(年額24万円)を支給した。

ウ 留学生への情報提供

市内の大学等に進学した留学生に対して、大学等のオリエンテーションで生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供した(北九州市立大学等計11回)。

3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

(1) 人材バンク・協会ボランティア登録の推進

人材バンク登録者及びボランティアの新規登録を進めると共に当協会の事業やイベント等で人材の活用を図った。

<人材バンク>登録状況3月31日現在

○翻訳サポーター(協会や市からの依頼により翻訳を行う):3人

○日本語教育サポーター(日本語学習の指導を行う):4人

○文化紹介サポーター(多文化共生や国際理解推進のための講演や研修を行う):37人

○外国語相談サポーター(協会窓口で相談対応や翻訳を行う):5人

○外国人住民応援サポーター(協会からの外国人に役立つ情報の発信を行う)5人

<協会ボランティア(言語内訳は重複あり)>

○行政通訳ボランティア:89人 ※うち災害時通訳サポーターとして72人登録

中国語 29 人、英語 19 人、ベトナム語 11 人、韓国語 7 人、インドネシア語 5 人、タガログ語 5 人、ネパール語 5 人、タイ語 4 人、ロシア語 3 人、モンゴル語 2 人、ウクライナ語 2 人、ドイツ語 1 人、ウルドゥー語 1 人

○医療通訳ボランティア：40 人

中国語 22 人、英語 13 人、韓国語 5 人、ベトナム語 1 人

○専門家相談通訳ボランティア：9 人

○交流ボランティアファミリー：58 家庭

○日本語教育ボランティア：39 人

(2) 外国人市民の防災支援（市の委託事業）

ア 外国人市民のための防災研修会

開催日：8 月 11 日（北九州イスラム文化交流センター）

参加者数：35 人（インドネシア 26 人、バングラディシュ 3 人、パキスタン 2 人、日本 2 人、シリア 1 人、トルコ 1 人）

講師：危機管理室危機管理課 坂本正明地域防災担当係長

内容：災害の備えや避難等についての講習会（英語通訳付きで実施）

イ 外国人支援者向け防災研修

開催日：2 月 8 日 10:30~12:00

場所：八幡西区役所 509 会議室

参加者数：38 人（北九州市関係部署職員、北九州市内警察署員、地域日本語教室代表、下関市職員、協会職員等）

講師：公益財団法人佐賀県国際交流協会 企画交流課長 矢富 明德氏

内容：災害時の外国人支援、災害多言語支援センターについての講義

(3) 民間団体との連携・協働の推進

ア 国際交流団体との連携

(ア) 北九州国際交流団体ネットワーク（キーネット：加盟 59 団体）の事務局支援

総会：5 月 20 日（子どもの館 子どもホール）

役員会：6 回開催

ワークショップ・研修会：2 回開催

①テーマ：「生態系ってなに？」

開催日：5 月 20 日（子どもの館 子どもホール） 参加者数：25 人

②テーマ：「伝えたい人に伝わる広報&PR」

開催日：2 月 3 日（八幡西区生涯学習総合センター 201 会議室） 参加者数：13 人

パネル展：10 月 4 日～16 日（ひとみらいプレイス） 参加団体数：16 団体

(イ) 民間団体の活動支援

○多文化共生の地域づくりに取り組む団体に対して事業経費の一部助成

助成団体：1 団体（学研都市留学生支援ネットワーク（フォースネット））

助成金額：100,000 円

○事業の共催、後援及び広報支援等 共催：5件 後援：10件

イ 国際理解教育の推進

(ア) 国際理解教育講師の派遣・紹介

福岡県国際交流センター、福岡よかトピア国際交流財団との協働事業として、外国人市民等を講師として、保育施設・小・中・高等学校や市民センター等に派遣する事業に協力した。

派遣した市内の学校数及び講師数：9校 16人

(イ) 協会職員等の講師派遣

小学校、高校、団体等に協会職員や協会ボランティアを講師として派遣し、自国の生活や文化等の紹介について講義を行った。

○協会職員や協会ボランティア（派遣回数5回）

- 9月28日 筒井小学校「韓国の生活や文化について」
- 10月24日 高蔵小学校「調べてみよう、世界の国（国際理解）」
- 10月31日 横代小学校「総合的な学習の時間「深めよう世界の国」
- 2月1日 長尾市民センター「生涯学習市民講座（一般）」
- 2月15日 北九州市教育委員会くろさき教育支援室「集団・体験活動「国際交流」

○協会職員（外国人支援主任（多文化ソーシャルワーカー））（派遣回数10回）

- 4月13日 かめのり財団「日本における外国人と福祉のこれまでとこれから連続セミナー第1回『多文化共生時代の地域福祉・福祉制度の現状と課題』」
- 4月26日 福岡県弁護士会北九州部会国際委員会「外国人法律相談登録研修」
- 5月26日 自治体国際化協会「第1回PA研修『PAとしての立場から考える多文化共生～文化の違いによる「誤解」を「2つの理解」ととらえてみる～』
- 7月20日 自治体国際化協会「第1回体験塾『外国人住民とつながる地域社会～技能実習生の支援を例に』～」
- 8月3日 全国市町村国際文化研修所「外国人相談窓口の運営『外国人相談の実際～多文化ソーシャルワークの視点から～』
- 9月13日 西南女学院大学「グローバル社会と地域母子保健」
- 10月～11月 八幡地区高等学校県立学校人権・同和教育推進連絡協議会「外国につながる生徒の教育支援」（オンデマンド）
- 11月15日 福岡県小倉北警察署「小倉北国際化対策研修会」
- 12月11日 自治体国際化協会「多文化共生の担い手連携促進研修会第2部『外国人支援をコーディネートするために～つくる連携・生まれる連携～』基調講演、パネルディスカッション、グループワーク」
- 2月21日 福岡県行政書士会シンポジウム「多文化共生ってなんだろう？第3部トークディスカッション」

○協会職員（日本語コーディネーター・総括コーディネーター）（派遣回数11回）

- 9月30日 小林市地域日本語教育サポーター講座「ANADO～あなたならどうする？」
- 10月1日 宮崎県日本語学習支援者フォローアップ講座『教室あるある！ANADO～あなたならどうする？～』を通して考えてみよう」

- 10月18日 小倉北警察署 「外国人に伝わりやすいやさしい日本語研修」(再掲)
- 11月2日 若松警察署 「外国人に伝わりやすいやさしい日本語研修」(再掲)
- 11月21日 戸畑区役所職員 「北九州市職員へのやさしい日本語研修」(再掲)
- 12月5日 小倉南区役所職員 「北九州市職員へのやさしい日本語研修」(再掲)
- 12月13日 八幡東区役所職員 「北九州市職員へのやさしい日本語研修」(再掲)
- 1月17日 宮崎県日本語学習支援者フォローアップ講座 オンライン
『教室あるある! ANADO~あなたならどうする?~』を通して考えてみよう
- 1月25日 八幡西警察署 「外国人に伝わりやすいやさしい日本語研修」(再掲)
- 2月2日 北九州市教育委員会 「やさしい日本語研修」(再掲)
- 2月14日 門司区役所職員 「北九州市職員へのやさしい日本語研修」(再掲)
- 協会職員(防災担当)
- 9月26日 全国市町村国際文化研修所 「災害時における外国人への支援セミナー」
「北九州市災害多言語支援センター設置運営訓練までの軌跡」

ウ 多文化共生の地域づくり

学習会や交流会、交流まつりなどのイベントを通して、多文化共生の地域づくりを推進した。

(ア) 英語で語る自分の国

回数：5回 参加者数：150人 場所：北九州国際交流協会

7月15日 香港 32人

10月07日 メキシコ 31人

11月18日 アメリカ 29人

1月20日 ベトナム 27人

3月2日 グアテマラ 31人

(イ) 多文化共生啓発

外国人市民と日本人が相互理解を深める交流会を開催した。

○レッツ トーク! ☆

回数：2回 参加者数：114人 場所：八幡西生涯学習総合センター大会議室

8月5日 55人(内15人外国人)

2月17日 59人(内30人外国人)

○留学生と日本人の交流会

回数：2回 参加者数：78人

場所：北九州国際交流協会、八幡西生涯学習総合センター

6月3日 留学生7人、交流ボランティアファミリー7家族21人

12月16日 留学生15人、交流ボランティアファミリー6家族15人、一般20人(国際交流クリスマスパーティーとして実施)

(ウ) 多文化共生交流事業(市の委託事業)

○外国人市民への図書館ガイドツアー

開催日：10月29日(日) 場所：北九州市立中央図書館

参加者数：32人(うち外国人26人)

○地域でのやさしい日本語普及啓発事業（再掲）

警察署職員を対象とした「やさしい日本語研修」を実施した。

①開催日：10月18日 場所：小倉北警察署 参加者数：15人

②開催日：11月2日 場所：若松警察署 参加者数：50人

○外国人市民と地域住民の交流事業

①「やさしい日本語」講座&ワークショップ

開催日：11月11日 場所：小倉中央市民センター第3集会室

参加者数：13人（内、ワークショップのみ10人外国人）

②ネパール・ベトナム文化講座

開催日：11月18日 場所：小倉中央市民センター第3集会室

参加者数：21人（内2人外国人）

③台湾文化展示会

開催日：1月15日～1月26日 場所：北九州国際交流協会

参加者数：約216人（自由観覧）

④台湾文化交流会 第1部

開催日：1月21日 場所：北九州国際交流協会

参加者数：45人

④-1 講演

庄野庸雄氏（西日本台湾学友会会長・しょうの歯科医院院長）を講師に迎え、「台湾文化について」をテーマに講演を実施した。

④-2 ワールドカフェ式対話交流

王伊均氏（北九州市立大学4年生）、邱若婷氏（早稲田大学大学院修生）、蔡雨靈氏（早稲田大学大学院修了生）、原田和昭氏（北九州台湾同郷便宜会会長）を迎え、「現代台湾のポップカルチャー」をテーマに情報共有を行った。

⑤台湾文化交流会 第2部

水引ワークショップ講師の西村佳代氏を招き、台湾風の春節飾りを水引で作成。多文化の体験活動を行った。

開催日：1月21日 場所：北九州国際交流協会

参加者数：15人

（エ）グローバル人材育成事業（市の委託事業）

○レッツ トーク！☆（再掲）

開催回数：2回

参加者数：114人

場所：八幡西生涯学習総合センター大会議室

8月5日 55人（内15人外国人）

2月17日 59人（内30人外国人）

○キーネットパネル展

開催期間：10月4日～16日（ひとみらいプレイス）

参加団体数：16団体

○2023KIA 国際交流まつり

北九州市に住んでいる外国人市民が、「ひとみらい交流ウィーク」期間中に賑わいづくりにつながるバザーや発表、民族衣装体験、図書バザー等を行った。

開催日：10月14日、15日

場 所：北九州国際交流協会

出品国：7カ国 7ブース

来場者数：約350人

○国際交流クリスマスパーティー(再掲)

外国人や外国文化を身近なものとしてとらえ、相互理解のきっかけとなるような交流イベントを開催した。

開催日：12月16日

場 所：八幡西生涯学習総合センター

参加者数：50人(内21人外国人)

(オ) 多文化共生の担い手育成

○コミュニティ通訳者フォローアップ研修(協会事業を支える人材育成)

開催日：2月5日

場 所：八幡西生涯学習センター大会議室

講 師：立命館大学衣笠総合研究機構 専門研究員 飯田奈美子氏

参加者数：20人

○インターンシップ受入れ

① 夏季研修(北九州市からの依頼と協会への直接依頼)

実習生：北九州市立大学国際環境工学部機械システム工学科3年生1人

北九州市立大学外国語学部英米学科3年生1人

熊本大学理学部理学科地球環境科学コース3年生1人

熊本学園大学商学部商学科3年生1人 計4人

実習期間：8月31日～9月2日 3日間

実習内容：協会事業の学習、日本語教室のアシスタント体験(オンライン)、外国語相談員との意見交換、イベント企画発表 等

② 春季研修(協会への直接依頼)

実習生：北九州市立大学外国語学部英米学科2年生1人

北九州市立大学外国語学部国際関係学科2年生1人・3年生1人 計3人

実習期間：2月29日～3月2日 3日間

実習内容：協会事業の学習、日本語教室体験(オンライン)、外国語相談員との意見交換、外国人市民へのインタビュー体験 等

○地域日本語教育研修教材「ANADO」の改訂

平成25年度に作成した「ANADO～あなたならどうする?～」は、地域日本語教育の現場の課題事例をカードにまとめ、課題解決を関係者と一緒に体験することを目的とした教材である。令和2年度に改訂版を作成し、令和3年度から全国に貸し出しているが、令和5年度に解説書の改訂及び新規カードを作成した。

《 協会の広報活動 》

○ホームページ等による広報（再掲）

日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語に対応したリニューアル後のホームページから、フェイスブックやインスタグラムの活用と併せて効果的な情報発信を行った。

○北九州市市政だよりに、協会事業やイベント情報を掲載（41件+特集記事9月15日号）

○北九州商工会議所が発行する会報誌「北商ニュース2023年9月号」に協会事業等を広報

○メールマガジンによる情報提供（月2回）

協会からのお知らせやイベント情報を登録者へ配信（メールマガジン登録者数：559人）

○日本語教室やワンストップインフォメーションPRパンフレットの作成・配布（多言語対応）

○「ボランティアウィーク2022（社会福祉協議会）」での協会事業の紹介（スライド映像）

出展日：10月15日～21日

場所：ウェルとばた

○「多文化共生わいわい祭り（北九州YMCAとの共催）」への出展

出展日：11月23日

場所：北九州YMCA

出展内容：世界の民族衣装体験

民族衣装体験ブースの来場者数：213人

Ⅲ 令和5年度決算

1 貸借対照表(総括表)

令和6年3月31日現在(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	12,344,569	7,688,250	4,656,319
未収金	779,900	1,563,200	▲783,300
前払費用	18,500	19,000	▲500
流動資産合計	13,142,969	9,270,450	3,872,519
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	292,895,900	299,947,800	▲7,051,900
定期預金	0	200	▲200
普通預金	0	52,000	▲52,000
基本財産合計	292,895,900	300,000,000	▲7,104,100
(2) 特定資産			
留学生等支援資金積立資産	36,128,799	36,608,799	▲480,000
外国人材活躍支援資金積立資産	15,025,661	13,049,255	1,976,406
特定資産合計	51,154,460	49,658,054	1,496,406
(3) その他固定資産			
車両運搬具	1	1	0
什器備品	514,090	1,039,599	▲525,509
その他固定資産合計	514,091	1,039,600	▲525,509
固定資産合計	344,564,451	350,697,654	▲6,133,203
資産合計	357,707,420	359,968,104	▲2,260,684
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,701,872	1,897,767	1,804,105
預り金	528,004	564,011	▲36,007
流動負債合計	4,229,876	2,461,778	1,768,098
負債合計	4,229,876	2,461,778	1,768,098
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受取寄付金	151,154,460	149,658,054	1,496,406
指定正味財産合計	151,154,460	149,658,054	1,496,406
(うち基本財産への充当額)	(100,269,000)	(100,000,000)	(269,000)
(うち特定資産への充当額)	(51,154,460)	(49,658,054)	(1,496,406)
2. 一般正味財産	202,323,084	207,848,272	▲5,525,188
(うち基本財産への充当額)	(192,626,900)	(200,000,000)	(▲7,373,100)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	353,477,544	357,506,326	▲4,028,782
負債及び正味財産合計	357,707,420	359,968,104	▲2,260,684

2 正味財産増減計算書（総括表）

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[2,308,244]	[2,308,244]	[0]
基本財産受取利息	2,308,244	2,308,244	0
特定資産運用益	[617]	[1,113]	[▲496]
特定資産受取利息	617	1,113	▲496
受取会費	[685,000]	[555,000]	[130,000]
受取賛助会費	685,000	555,000	130,000
事業収益	[2,907,023]	[2,501,120]	[405,903]
外国人市民の防災支援受託事業収益	493,000	456,000	37,000
コミュニティ通訳等派遣業務受託事業収益	997,700	997,700	0
人材育成受託事業収益	349,470	349,800	▲330
多文化共生事例調査業務事業収益	0	99,000	▲99,000
台湾文化交流会事業収益	99,946	0	99,946
外国人市民と地域住民の交流事業収益	697,455	399,960	297,495
外国人市民のための図書館ガイドツアー事業収益	99,792	99,660	132
ウクライナひまわりプロジェクト管理業務受託事業収益	0	99,000	▲99,000
外国人受入企業の支援事業収益	169,660	0	169,660
受取補助金等	[69,109,980]	[71,394,530]	[▲2,284,550]
受取北九州市補助金	60,362,000	61,118,000	▲756,000
受取国庫補助金	8,600,000	10,000,000	▲1,400,000
受取助成金	147,980	276,530	▲128,550
受取寄附金	[3,703,594]	[5,067,754]	[▲1,364,160]
受取寄附金	40,000	44,000	▲4,000
受取寄附金振替額	3,663,594	5,023,754	▲1,360,160
雑収	[600,926]	[793,739]	[▲192,813]
受取利息	11	5	6
その他雑収益	600,915	793,734	▲192,819
経常収益計	79,315,384	82,621,500	▲3,306,116
(2) 経常費用			
事業費	[75,287,870]	[80,342,072]	[▲5,054,202]
役員報酬	6,154,895	6,150,965	3,930
給料手当	33,330,111	34,942,772	▲1,612,661
臨時雇賃金	3,238,490	2,847,930	390,560
福利厚生費	8,052,522	8,433,397	▲380,875
材料費	0	3,722	▲3,722
奨学金	720,000	960,000	▲240,000
留学生等支援助成金	740,000	1,769,764	▲1,029,764
外国人材活躍支援助成金	2,730,000	3,242,000	▲512,000
旅費交通費	1,963,234	1,460,870	502,364
通信運搬費	2,002,661	2,297,152	▲294,491
減価償却費	513,270	559,385	▲46,115
消耗什器備品費	0	1,062,682	▲1,062,682
消耗品費	991,100	1,647,447	▲656,347
車両費	215,105	81,920	133,185
修繕費	44,000	22,000	22,000
印刷製本費	894,560	255,682	638,878
光熱水料費	2,165,895	2,284,514	▲118,619
リース料	803,940	845,835	▲41,895
使用料賃借料	3,785,969	4,235,625	▲449,656

交 際 費	1,500	0	1,500
災 害 保 險 費	76,106	76,957	▲851
報 償 公 課 金	3,389,280	3,797,960	▲408,680
租 税 公 課 金	4,000	4,000	0
支 払 負 担 金	250,000	250,000	0
委 託 費	2,381,377	2,284,100	97,277
函 書 費	174,375	188,325	▲13,950
食 糧 費	44,080	72,073	▲27,993
雜 費	621,400	564,995	56,405
管 理 費	[2,613,558]	[2,357,120]	[256,438]
役 員 報 酬	306,205	398,735	▲92,530
給 料 手 当	234,253	226,863	7,390
福 利 厚 生 費	126,482	65,797	60,685
通 信 運 搬 費	30,936	23,004	7,932
減 価 償 却 費	12,239	12,238	1
消 耗 品 費	52,163	95,947	▲43,784
印 刷 製 本 費	19,800	56,984	▲37,184
光 熱 水 費	113,994	120,237	▲6,243
リ ー ス 料	42,312	44,517	▲2,205
使 用 料 賃 借 料	581,143	523,996	57,147
会 議 費	0	1,230	▲1,230
支 払 負 担 金	100,000	100,000	0
報 償 費	0	15,000	▲15,000
委 託 費	929,500	594,000	335,500
交 際 費	5,645	11,186	▲5,541
雜 費	58,886	67,386	▲8,500
経 常 費 用 計	77,901,428	82,699,192	▲4,797,764
評 価 損 益 等 調 整 前 当 期 経 常 増 減 額	1,413,956	▲77,692	1,491,648
基 本 財 産 評 価 損 益 等	▲6,979,144	0	▲6,979,144
投 資 有 価 証 券 評 価 損 益 等	0	▲13,353,644	13,353,644
評 価 損 益 等 計	▲6,979,144	▲13,353,644	6,374,500
当 期 経 常 増 減 額	▲5,565,188	▲13,431,336	7,866,148
2. 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
受 取 寄 附 金	[40,000]	[40,000]	[0]
受 取 寄 附 金 振 替 額	40,000	40,000	0
経 常 外 収 益 計	40,000	40,000	0
(2) 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	40,000	40,000	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	▲5,525,188	▲13,391,336	7,866,148
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	207,848,272	221,239,608	▲13,391,336
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	202,323,084	207,848,272	▲5,525,188
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
受 取 寄 附 金	[5,200,000]	[5,000,000]	[200,000]
受 取 民 間 寄 附 金	5,200,000	5,000,000	200,000
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	[▲3,703,594]	[▲5,063,754]	[1,360,160]
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	▲3,703,594	▲5,063,754	1,360,160
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	1,496,406	▲63,754	1,560,160
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	149,658,054	149,721,808	▲63,754
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	151,154,460	149,658,054	1,496,406
III 正 味 財 産 期 末 残 高	353,477,544	357,506,326	▲4,028,782

IV 令和6年度事業計画

本協会は、「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」という長期ビジョンの下、令和3(2021)年3月に策定した中期計画に基づき、

- 1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実
- 2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献
- 3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

の3つの分野における事業を実施することとしている。

中期計画の4年目となる令和6(2024)年度は、新型コロナウイルス感染症の「5類」移行後、外国人市民が急増、今後も増加が予想される中、外国人市民との共生社会の実現に向けた取組みを引き続き推進していく。

具体的には、平成31(2019)年4月に設置した「北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンター」において、外国人市民への多言語による生活全般の情報提供・相談を行う。

併せて、「生活支援」の1つとして、外国人市民への防災対策を充実させていく。

また、外国人市民の言葉の壁を取り除くために、国の施策をふまえて外国人市民への日本語教育を充実させ、同時に日本人等への「やさしい日本語」の普及に取り組んでいく。

本事業計画に基づく予算は、国及び北九州市の補助金に加え、高城外国人材活躍支援資金(寄附金)等特定資産を活用するほか、賛助会費等の自主財源の確保に努める。

1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実

(1) 外国人市民の相談窓口の充実

ア 北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンター

外国人市民が安心して相談できるよう支援体制の強化・充実に努める。

○八幡西区役所(コムシティ)及び小倉北区役所で、「外国語相談員」が日本語、英語、中国語、ベトナム語による相談対応を行い、それ以外の言語は電話通訳やタブレット端末を活用した多言語通訳システム等の活用により最大23言語の相談に対応

○常設の相談窓口に加え、他の区役所等でオンライン相談を試行

○多面的かつ継続的な支援を必要とする相談に対しては、社会福祉士の資格と外国人支援に関する知識・経験を持つ「多文化ソーシャルワーカー」を中心に関係機関と連携し、相談者に寄り添った長期的なフォローの実施

○「相談通訳コーディネーター」が翻訳等のサポーターや行政・医療通訳ボランティアの育成・派遣を行い、日本語の苦手な外国人市民に寄り添った支援の実施

○日本語教育に関する相談に、「日本語コーディネーター」が「外国語相談員」と連携して対応

イ 専門家相談

専門的な分野の相談には、必要に応じて通訳が同席する無料の専門家相談会を実施する。

○行政書士による「入国、在留、ビザ手続きの相談」 月1回

○弁護士による「法律相談」 月1回

○臨床心理士による「心理カウンセリング」 随時

ウ 外国人支援機関ネットワークの活用

福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市教育委員会、北九州市役所関係部局等で構成する「北九州外国人支援関係機関連絡会議」において、外国人市民の抱える課題等の情報共有を図り、「北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンター」の業務にフィードバックすることにより、外国人支援事業の充実を目指す。

(2) 多言語による情報提供の改善

ア ホームページや SNS を活用した広報

令和 4（2022）年 4 月にリニューアルした協会のホームページ（日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語に対応）及び、フェイスブックやインスタグラム等の SNS を活用し、効果的な情報発信を行う。

特に大雨や台風などの多言語による情報提供を協会ホームページやフェイスブックで速やかに行い、避難準備等の注意喚起を行う。

イ 外国人市民への防災対策

(ア) 外国人市民等への防災研修

外国人市民や外国人市民関係者向けの防災研修を実施する。

(イ) 北九州市災害多言語支援センターの運営

北九州市との協定に基づき、大規模災害発生時に「北九州市災害多言語支援センター」を開設し、外国人への情報提供、支援を必要とする外国人への相談対応等を行う。

北九州市と合同で策定した「北九州市災害多言語支援センター設置運営マニュアル」に沿った研修を実施し、必要に応じてマニュアルの改訂を行う。

(ウ) 外国人市民への災害情報の提供

外国人市民と日頃から関わりのある「外国人住民応援サポーター」に災害に関する情報拡散を依頼する。

(3) 日本語教育の推進と ICT 活用

ア 協会主催の日本語教室の運営等

令和元（2019）年度から文化庁の「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業補助金」を活用し、「総括コーディネーター」及び「地域日本語コーディネーター」からなる体制を維持してきたが、令和 6（2024）年度も同補助金を活用し、「日本語教育の推進に関する法律（令和元年公布・施行）」及び国が定めた「外国人材の受入れ、共生のための総合的対応策（令和 5 年度改訂）」並びに「地域における日本語教育の在り方について（文化審議会国語分科会報告（令和 4 年）」に沿った日本語教育を推進していく。

○令和 3（2021）年 10 月に文化審議会国語分科会が策定した「日本語教育の参照枠」に沿った「生活者としての外国人」に対する日本語教育の推進のため、令和 5（2023）年度に内容を見直した協会主催教室のさらなる充実

○地域で暮らす外国人市民や児童生徒を対象としたオンライン授業の積極的な推進

○教室を支援する人材の募集・育成

イ 地域日本語教室との連携・支援

地域で日本語教室を運営している市内 15 の教室・団体の活動経費の一部を助成するほか、

研修や意見交換の場を設ける等、各教室・団体に対し必要な支援を行う。

- 地域日本語教室への訪問やアンケート、意見交換会、研修の実施
- 高城外国人材活躍支援資金（寄附金）による日本語教室助成金交付
- 地域日本語教室のための対話テキスト作成

ウ 日本語スピーチコンテストの開催

日本語を学ぶ外国人のモチベーションの向上、教室間の情報共有、相互理解の促進を目的として、次の事業を実施する。

- 留学生を対象とした「留学生弁論大会」の開催
- 地域日本語教室で学ぶ外国人市民などを対象とした「おしゃべり発表会」の開催

エ 「やさしい日本語」研修の実施

「生活者としての外国人」に対する日本語教育への理解促進のために、日本人等に「やさしい日本語」の研修を行い、両者のコミュニケーション能力向上を目指す。

オ 外国人受入団体（企業・夜間中学校）の支援

技能実習生を雇用している、もしくは雇用を検討している受入企業に対して、当協会オリジナルプログラムによる「日本人社員向け講座」や「外国人社員向け日本語教育」に必要な講師派遣をニーズに合わせて実施する。また、令和6（2024）年4月に開校する「夜間中学校」で学ぶ外国人生徒達への支援を検討する。

2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献

(1) 人材バンク登録の推進

翻訳などのサポーターや行政・医療通訳ボランティアなどを発掘して人材バンクへの登録を推進・育成する。

併せて外国人人材の情報を収集し、協会との関係を深めることで外国人の視点からの魅力発信など、地域への貢献を促進するよう協力を求める。

(2) 留学生等に対する地元就職支援

ア 地元企業への就職等促進

市内の日本語学校を卒業し、市内の他の教育機関（専門学校、大学）に進学する留学生、及び市内の専門学校、大学を卒業し、市内企業に就職する留学生に奨励金を支給する。

イ 関原北九州大連友好基金の活用

大連市内の大学、専門学校を卒業し、市内の大学等に在籍している留学生に対して奨学金を支給する。

3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

(1) 外国人市民の地域社会への参加促進

地域社会へ貢献する意思のある外国人市民からなる自助組織を積極的に支援するとともに、地域社会において、ボランティア等で活躍する外国人市民が増えていくような取組みを検討する。

(2) 民間団体との連携・協働の推進

ア 国際交流団体との連携

(ア) 北九州国際交流団体ネットワーク（キーネット）支援

キーネット加盟団体相互の情報交換等の活動を事務局として支援する。

(イ) 民間団体の活動支援

国際化や多文化共生に取り組む民間団体の活動経費の一部を助成するほか、事業の共催、後援及び広報支援等を行う。

イ 国際理解教育の推進

(ア) 国際理解教育講師の派遣

福岡県国際交流センター、福岡よかトピア国際交流財団との協働事業として、外国人市民等を講師として小・中・高等学校や市民センター等に派遣し、世界の文化や習慣等を紹介し、異文化理解を促進する。

(イ) 講師の派遣

協会の職員や外国語相談員、人材バンクの登録者等が講師となり、小・中学校や高校、市民センター等で自国の生活や文化等を紹介し、参加者との交流により多文化共生の意識を醸成する。

ウ 多文化共生の地域づくり

日本人市民と留学生等の外国人市民の交流を支援するとともに、学習会や研修会、国際交流まつりなどのイベントを通して、多文化共生の人材づくり・啓発を行う。

V 令和6年度予算

収支予算書

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日 (単位:千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[2,380]	[2,380]	[0]
基本財産受取利息	2,380	2,380	0
特定資産運用益	[0]	[0]	[0]
特定資産受取利息	0	0	0
受取会費	[600]	[600]	[0]
賛助会員受取会費	600	600	0
事業収益	[2,048]	[2,349]	[▲301]
コミュニティ通訳等派遣受託業務収益	998	999	▲1
共生社会の実現に向けた環境整備事業収益	400	600	▲200
外国人防災支援受託事業収益	300	400	▲100
多文化共生人材づくり受託事業収益	350	350	0
受取補助金等	[68,771]	[69,112]	[▲341]
受取北九州市補助金	61,121	60,362	759
受取国庫助成金	7,500	8,600	▲1,100
受取自治体国際化協会助成金	150	150	0
受取寄附金	[6,040]	[6,840]	[▲800]
受取寄附金	40	40	0
受取寄附金振替額	6,000	6,800	▲800
雑収益	[251]	[251]	[0]
受取利息	1	1	0
その他雑収益	250	250	0
経常収益計	80,090	81,532	▲1,442
(2) 経常費用			
事業費	[78,781]	[80,390]	[▲1,609]
役員報酬	6,105	6,077	28
給料手当	34,021	34,579	▲558
臨時雇賃金	4,590	4,870	▲280
福利厚生費	7,503	8,306	▲803
会議費	7	5	2
旅費交通費	1,468	1,668	▲200
通信運搬費	1,498	1,498	0
減価償却費	551	551	0
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	466	533	▲67
材料費	50	50	0
車両費	82	82	0
印刷製本費	154	254	▲100
光熱水料費	2,008	2,052	▲44
リース料	1,222	1,222	0
使用料賃借料	4,857	4,910	▲53
災害保険料	130	135	▲5
報償費	4,117	3,200	917

奨食支留函委雜管	學糧負担	金費金	720	720	0
			40	65	▲25
			350	350	0
			5,700	6,800	▲1,100
			360	20	340
			2,286	1,976	310
			496	467	29
			[1,309]	[1,019]	[290]
			483	445	38
			314	152	162
			54	51	3
			8	8	0
			0	0	0
			14	14	0
			29	29	0
			5	5	0
			210	108	102
			38	38	0
			0	0	0
			11	11	0
			68	83	▲15
			75	75	0
經常費用		計	80,090	81,409	▲1,319
当期經常増減		額	0	123	▲123
2. 經常外増減の部					
(1) 經常外収益					
經常外収益		計	0	0	0
(2) 經常外費用					
經常外費用		計	0	0	0
当期經常外増減		額	0	0	0
当期一般正味財産増減		額	0	123	▲123
一般正味財産期首残高			222,240	222,117	123
一般正味財産期末残高			222,240	222,240	0
II 指定正味財産増減の部					
受取寄付金			5,000	5,000	0
一般正味財産振替		額	▲6,000	▲6,800	800
当期指定正味財産増減		額	▲1,000	▲1,800	800
指定正味財産期首残高			132,757	134,557	▲1,800
指定正味財産期末残高			131,757	132,757	▲1,000
III 正味財産期末残高					
			353,997	354,997	▲1,000

VI 役員名簿等

1 役員名簿

令和6年7月1日現在

役職名	氏名	備考
理事長	福原 公子	(公財)北九州国際交流協会理事長
専務理事	石井 佳子	(公財)北九州国際交流協会専務理事
理事	井上 龍子	八幡駅前開発(株)代表取締役社長
//	吉成 安恵	独立行政法人国際協力機構九州センター所長
//	廣澤 洋子	北九州国際交流団体ネットワーク顧問
監事	窪田 浩治	北九州市政策局総務国際部長
//	野中 宏之	(株)福岡銀行常務執行役員北九州本部長

2 市との特命随意契約の状況(令和5年度実績)

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意 契約の場合 その理由
コミュニティ通訳業務	998	参加者の有無を確認する公募を実施した結果、当該業務を履行可能なものが1者しかいないことが確認されたため。	再委託なし				
令和5年度外国人市民の防災支援事業	493	参加者の有無を確認する公募を実施した結果、当該業務を履行可能なものが1者しかいないことが確認されたため。	再委託なし				
令和5年度「グローバル人材育成事業」	349	北九州ひとみらいプレイスを構成する各施設との連携事業の一環であり、プレイスに所属し、国際関連団体とのネットワークを持つ組織でないと実効性のある履行が期待できないため。	再委託なし				
令和5年度台湾文化交流会	100	特命随意契約かつ1件の予定価格が10万円以下の場合は特別の事情がある場合とできるため。	再委託なし				
令和5年度地域でのやさしい日本語普及啓発事業等	697	外国人に対する日本語教育について優れた知見と実績を有し、また、外国人の文化的背景を理解し対応できる事業者が(公財)北九州国際交流協会以外にないため。	再委託なし				

外国人市民のための図書館ガイドツアー運営補助業務委託	100	特命随意契約かつ 1 件の予定価格が 10 万円以下の場合には特別の事情がある場合とできるため。	再委託なし	
合計	2,737		合計	